さっぽろ読書・図書館プラン2022の取組項目の進捗状況（令和7年度（2025年度））

No.	担当	具体的事業	具体的な取組内容	令和7年度（2025年度）の取組結果（成果） 令和8年度（2026年度）の取組目標

基本方針１　市民の読書環境の充実と情報活用の支援

◆取組の方向性◆　(1)　市民の誰もが文字・活字文化に親しむ基盤の整備や読書を楽しむ機会の充実を図る

①文字・活字文化に親しむ基盤の整備

1　中央図書館

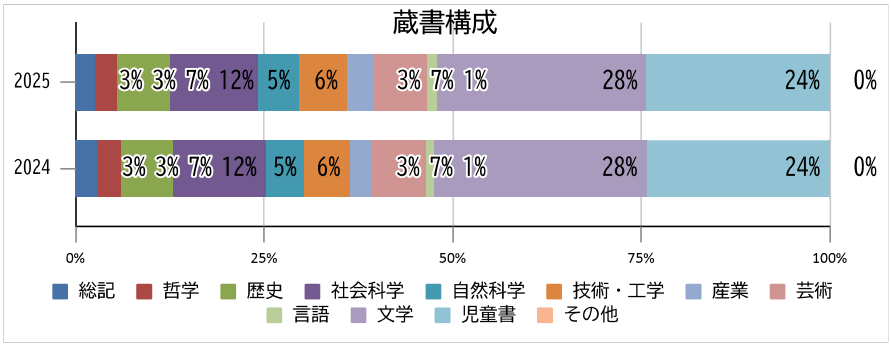
■効果的・効率的な資料収集

寄贈図書を有効活用しながら購入資料を選定するとともに、検討を行ってきた資料の複本・保存・更新の在り方に基づき、引き続き中央図書館、地区図書館、区民・地区センター図書室等、札幌市の図書施設全体での効果的・効率的な資料収集に努めます。

達成度：A

【令和7年度(2025年度)取組結果】

○令和3年度に策定された「札幌市図書館資料選定基準」「札幌市えほん図書館資料選定基準」「札幌市図書・情報館資料選定基準」「札幌市図書館資料収集要綱」「札幌市図書館資料選定会議要綱」に基づき資料収集を図った。



【令和8年度(2026年度)取組目標】

○引き続き制定された基準に沿った資料収集を進めるとともに、寄贈図書の有効活用により、限られた財源の中でのタイトル数確保を図る。

2　中央図書館

■再利用図書の無償譲渡

図書館及び図書室で役割を終えた本を学校図書館や児童会館、幼稚園等の各種団体で再利用するために、無償譲渡を行うなど、図書館と団体との連携を図り、再利用図書の有効活用に努めます。

達成度：A

【令和7年度(2025年度)取組結果】

○各種団体（学校図書館や児童会館、幼稚園、福祉関連施設など）向けに、各図書館で再利用図書の無償譲渡を実施した。
○譲渡対象冊数：15,303冊
○譲渡冊数：6,311冊

再利用図書の無償譲渡実施状況（全館分）

年度	2021	2022	2023	2024	2025
譲渡対象冊数（冊）	18,932	23,797	20,903	19,392	15,303
譲渡先数	151	163	216	203	170
譲渡冊数（冊）	10,128	13,762	12,911	5,187	6,311
譲渡率（%）	53.5	57.8	61.8	26.7	41.2

【令和8年度(2026年度)取組目標】

○参加団体からも好評を得ており、資源を無駄にしない取組としても意義があるため、今後も継続して実施する。

3　中央図書館

■図書資源ネットワークの活用

市民からの寄贈本を学校等で再利用する「さっぽろ本の再活用パートナーシップ事業」の利用促進を図り、寄贈図書の有効活用に努めます。また、インターネット予約システムを活用した学校向け団体貸出によって、子どもや教員へ図書館の蔵書提供を図っていきます。

達成度：A

【令和7年度(2025年度)取組結果】

○「さっぽろ本の再活用パートナーシップ事業」については、「札幌市図書再活用ネットワークセンター」に対し、計10,915冊を提供した。
○学校向け団体貸出については、65校に計6,022冊を貸し出した。

寄贈本の「さっぽろ本の再活用パートナーシップ事業」への提供数

年度	2021	2022	2023	2024	2025
提供冊数（冊）	約9,600	9,947	10,533	9,525	10,915

【令和8年度(2026年度)取組目標】

○「さっぽろ本の再活用パートナーシップ事業」について、今後も寄贈図書の有効活用や図書館利用促進のため継続して実施するとともに、学校向け団体貸出についても読書活動の環境づくりのため、継続的に周知を図ります。

②市民の誰もが読書を楽しめる環境の充実

4　中央図書館

■テーマ別の図書展示の充実

時事的な話題や季節の行事、社会の動きなどを考慮しながら、幅広い分野にわたるテーマを設定し、関連する図書の展示や情報提供、ブックリストの配布を行うことにより、本棚の本を眺めるだけでは得られない新たな本との出会いの場を提供していきます。

達成度：A

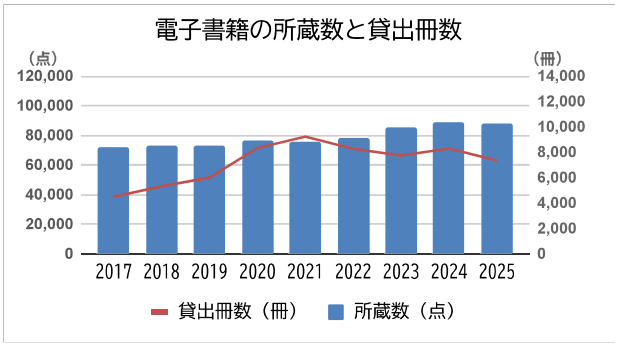
【令和7年度(2025年度)取組結果】

○図書館サービス係の取組
・通常展示　16回（「何部、入る?」「図書館員も語りたい」「ととのえる」「読む地図」他）
・連携展示　13回（消費生活課、児童相談所、国際部、区政課　他）
・ミニ展示　14回（「乗り物」「にじいろ」「芥川賞直木賞」「うま」「紅白本合戦」他）
○児童サービス係の取組
・ハロウィンやクリスマスなどの季節の行事や、夏休み・冬休みに合わせた小学生向けの自由研究の展示（31回）、ブックリストの配布（3回）、自由研究サポート用紙の配布（1回）
・庁内の他部局や庁外の団体等と連携した展示（6回）
・中学校の図書委員のおすすめ本をテーマにした展示とブックリストの配布（1回）
・市民向け読み聞かせ講座の関連展示とブックリストの配布（1回）
・美術への誘いの講演テーマに合わせた展示（１回）とブックリストの配布（2回）
・サイエンス・フォーラムの開催に合わせた博物館活動センターでの出前展示（1回）

【令和8年度(2026年度)取組目標】

○書庫の本が利用者の目に触れる機会を増やすため、テーマ展示に積極的に活用し、新旧取り揃えて魅力的な展示となるよう心掛ける。また、様々な本に出会えるよう、利用者の興味関心をひく展示の取り組みを実施する
○幅広い分野のテーマに基づいた企画展示やブックリストの配布を継続的に展開し、本との出会いの機会を創出する。
○庁内他部局に対し、図書館活用のPRを積極的に行い、連携展示等の取組を継続して実施する。

さっぽろ読書・図書館プラン2022の取組項目の進捗状況（令和7年度（2025年度））

No.	担当	具体的事業	具体的な取組内容	令和7年度（2025年度）の取組結果（成果） 令和8年度（2026年度）の取組目標
5	中央図書館	■日本語を母語としない方への対応の強化	日本語を母語としない方でもわかりやすい表現で書かれた資料の収集や、翻訳アプリを活用した接客等、日本語の理解が十分でない方への読書支援を行います。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○日本語を母語としない方でもわかりやすい表現で書かれたLLブックの収集を行った。また、日本語の理解が十分でない方に対して、翻訳アプリなどを利用して対応した。 【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○引き続き日本語を母語としない方でもわかりやすい表現で書かれた資料の収集を継続する。また、日本語の理解が十分でない方に対して、引き続き翻訳アプリなどを活用し読書支援を行う。
		達成度	A	
③読書や図書館に触れる機会の提供				
6	中央図書館	■図書館の利用普及・連携事業の充実	文化人や専門家などによる講演会など、普及事業に取り組んでいきます。また、積極的に他の施設や企業などとの連携を図り、市民へ多様な情報を提供します。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○児童向け行事：日本ハムファイターズ読書推進全道キャンペーン（北海道主催）への参加協力を行った。 ○児童・一般向け行事：カルチャーナイト2025へ参加した。 ○一般向け行事：文字・活字文化の日記念講演会や美術への誘い、サイエンス・フォーラムinさっぽろを実施した。 ○市立中学校向け取組：CISEネットワーク「調べる学習支援トランクキット」の貸出を35回行った。 【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○引き続き、外部連携を通じて、専門的な知見に触れる講演会や普及事業を展開し、多様な情報発信に努める。
		達成度	A	
7	中央図書館	■読書や図書館の実務に触れる体験型イベントの実施【新規】	図書館についてより理解を深めてもらうため、展示のテーマ決めや選書など、通常図書館職員が行っている業務について利用者自身に行ってもらい、実際に展示するなど、実務やバックヤード等を体験する形のイベントを実施します。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○「さっぽろキッズインターンシップ」に参加し、司書の仕事を体験する「一日司書体験」プログラムを実施した。 ○「特色ある図書館活用展示会」の表彰校を対象に、中央図書館の展示スペースを利用した展示企画を呼びかけ、３校と連携を行った。展示のテーマ設定、選書、POPの作成、ブックリストの作成等を協力校にて実施した。 ○蔵書一斉点検作業中の館内のようすを公式Instagramで発信した。 【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○実務体験や展示企画への参画を通じた体験型イベントを継続し、図書館の役割への理解深化を図る。
		達成度	A	
④新たな読書機会の創出　重点				
8	中央図書館	■電子書籍サービスの推進	障がいや育児、仕事など様々な理由で来館が困難な方に対する図書館サービスをより充実させるため、他部局と連携して広報を行うなど電子図書館の利用を促進します。また、GIGA端末が整備された小中学生に対する電子図書館の利用を促進する取組を検討します。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○電子図書館のPRチラシをイベントや展示で配布し、周知を図った。 ○「小中学生向け読書活動推進事業」の実施に合わせて、調べ学習に使える読み放題パックを導入した。 ○上記の調べ学習に使える読み放題パックの他に、乳幼児から高校生を対象とした電子書籍の読み放題パックを3点購入し、予約待ちせずに同時に何人でも読めるコンテンツを増やすことで、小中学生に対する電子図書館の利用促進を図った。  【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○小中学生や日頃図書館に来館しない層に対して、SNSやイベントを活用し、効果的なPRを行うことで電子図書館の利用を促進する。 ○コンテンツについては、引き続き読み放題パックの収集や定期的に新たな特集を組むなどしてサイトを充実させ、利用者満足度の向上を目指す。
		達成度	A	
9	中央図書館	■貸出・返却拠点設置の検討【新規】	介護・育児等、多様な事情により来館時間の確保が困難な方など貸出（受取）・返却の利便性を図るため、新たな図書館サービスポイントの配置について検討します。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ※令和6年度に図書館DXに関する調査研究を実施済。 【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○新たなサービスポイントの配置については、導入コストやスペースといった課題等と、既存の市内44か所の図書施設によるサービス提供状況も踏まえ、費用対効果や持続可能性の観点から、引き続き慎重に検討を行う。
		達成度	ー	
10	中央図書館	■他施設へのアウトリーチに関する調査・研究【新規】	学校や施設と連携し、これまで図書館サービスが及ばなかった市民に対しサービスを広げていくための調査/研究をします。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○図書館の利用機会が少ない市民へのアプローチとして、外部行事「交通資料館まつり2025」に出展し、クイズやテーマ別展示等を通じた周知活動を実施した。利用案内や読書ノートの配布により利活用を促進し、ブースには1,754名の来場があった。 ○また、これまでサービスが及ばなかった市民に対する更なる周知と利活用の促進を図るための取組について、継続して検討を実施した。 【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○今後も施設等と連携し、出張展示や各種資料の配布等の普及啓発活動を継続する。図書館の利用機会が少ない層へのアプローチを強化し、サービスの更なる周知と利活用の促進を図る。
		達成度	A	

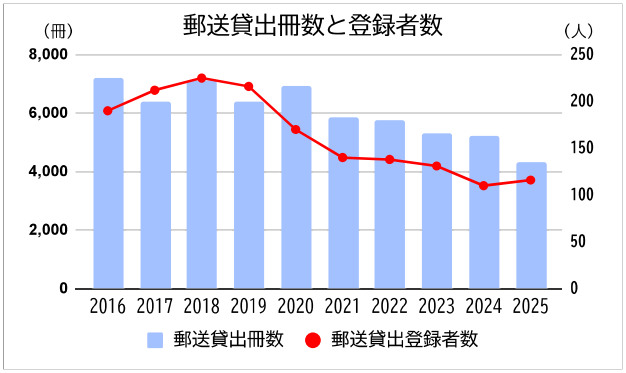
さっぽろ読書・図書館プラン2022の取組項目の進捗状況（令和7年度（2025年度））

No.	担当	具体的事業	具体的な取組内容	令和7年度（2025年度）の取組結果（成果） 令和8年度（2026年度）の取組目標

◆取組の方向性◆　(2)　来館が難しい方や障がいのある方の読書環境の充実を図る

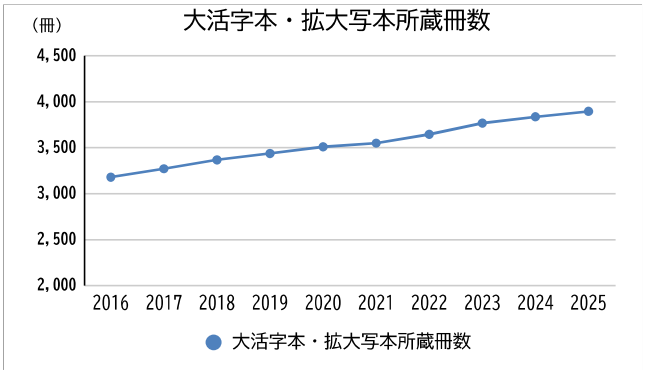
⑤特別な支援を要する方へのサービスの充実

No.	担当	具体的事業	具体的な取組内容	令和7年度（2025年度）の取組結果（成果） 令和8年度（2026年度）の取組目標
11	中央図書館	■高齢者・障がいのある方向けの資料の充実と利用環境の整備	高齢者や障がいのある方へのサービスとして、大活字本や拡大写本などの収集、拡大読書器の設置、郵送貸出などサービスの充実と、情報提供の促進を図ります。また、障がいのある様々な年代の方への望ましい対応について継続的に検討していきます。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○郵送貸出登録者　合計116人（高齢者22人、障がい者92人、障がい者（児童）2人） ○貸出件数　790件 ○貸出資料数　合計4,304点（図書3,841冊、雑誌373冊、視聴覚90点） ○登録者数は前年度比で微増（110人→116人）となったものの、従前より利用頻度が高かった一部の利用者が利用を終了した影響が大きく、貸出総件数・冊数は減少となった。
		達成度	B	【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○郵送貸出サービスについては、引き続き円滑なサービス提供を目指す。



⑥視覚での認識が困難な方への支援

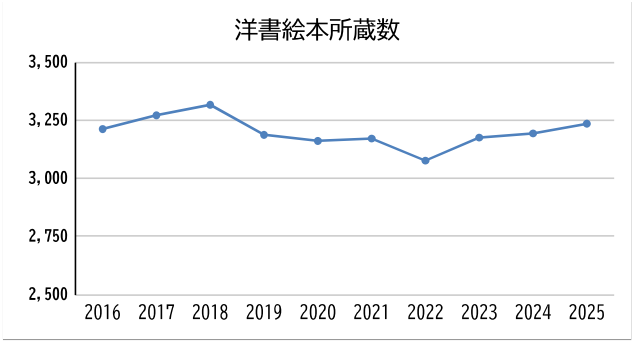
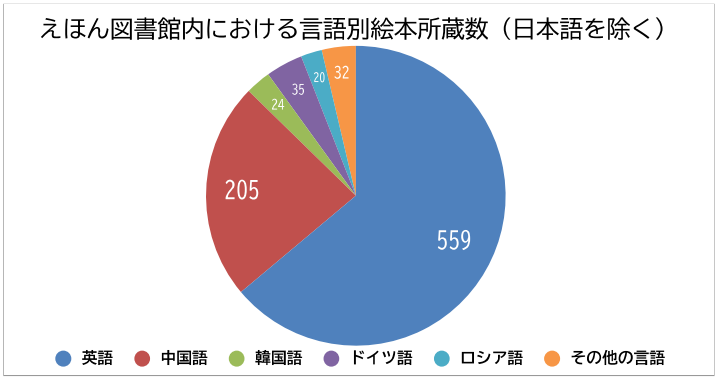
No.	担当	具体的事業	具体的な取組内容	令和7年度（2025年度）の取組結果（成果） 令和8年度（2026年度）の取組目標
12	中央図書館	■視聴覚障がい者情報センターとの情報の共有と発信	利用される方の障がいの状態に応じた適切なご案内ができるよう、情報を共有し、様々な情報発信を行っていきます。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○必要に応じて視聴覚障がい者情報センターの職員へ障がい者対応関係の研修案内等の情報提供を行った。 ○視聴覚障がい者情報センターと連携し、センターで活動するボランティアに対して点訳用の図書を長期間貸出しできるようにする一方、拡大写本を寄託していただくなどにより、大活字本・拡大写本の着実な収集・更新を進めた。 ・大活字本・拡大写本所蔵数　3,902冊
		達成度	A	【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○引き続き視聴覚障がい者情報センターと連携し、今まで以上に必要な方に必要な情報が届くよう更なるPR方法を検討する。



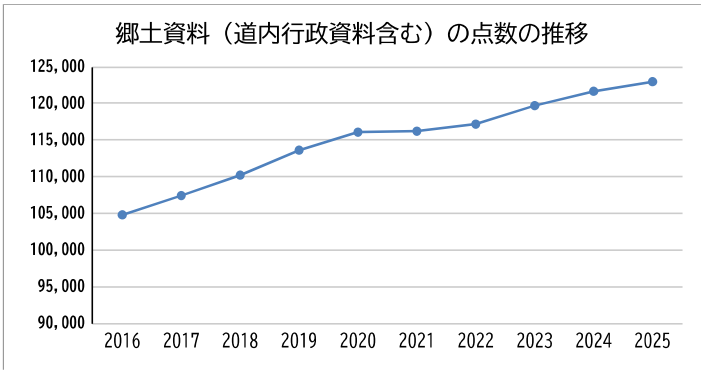
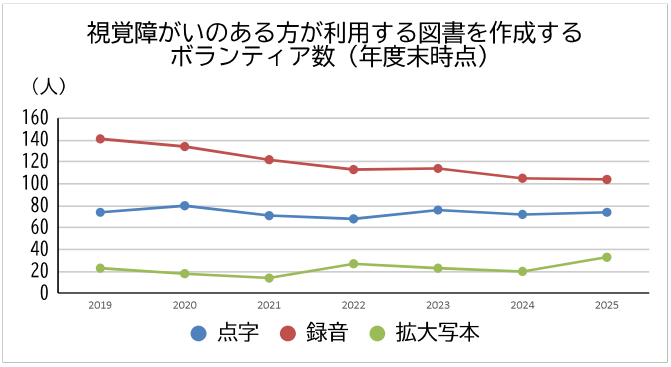
No.	担当	具体的事業	具体的な取組内容	令和7年度（2025年度）の取組結果（成果） 令和8年度（2026年度）の取組目標
13	保健福祉局障がい保健福祉部	■サピエ図書館の登録者増加に向けた取組【新規】	サピエ図書館に関する周知を行うほか、サピエ図書館に対応したICT機器の操作について相談に応じるなど、視覚障がい者の方がサピエ図書館を活用できるような取組を実施します。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 視聴覚障がい者情報センターの中途失明者社会適応訓練事業において、日常生活を送るうえで必要とされる訓練とともに、各種相談を応じており、当事者からスマートフォン、タブレットの機器操作に関する相談が多くある。 当センターでは、当事者の障がいの程度に合わせて個別に丁寧に操作説明を実施(点字図書館の利用を希望する者には、機器操作を含めた説明も実施)。 また、サピエ図書館のパンフレットを当センターと中央図書館で配架し、周知を図っている。
		達成度	A	【令和8年度(2026年度)取組目標】 引き続き、視聴覚障がい者情報の中途失明者社会適応訓練事業において、相談当事者の障がいの程度に合わせて、個別に丁寧に説明を実施していく。 また、サピエ図書館のパンフレットを当センターと中央図書館で配架し、周知を図っていく。

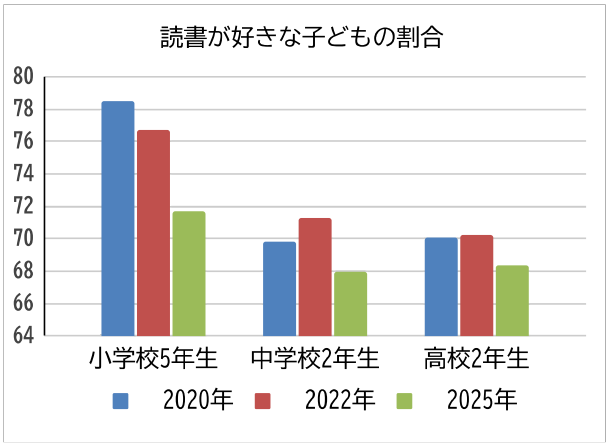
さっぽろ読書・図書館プラン2022の取組項目の進捗状況（令和7年度（2025年度））

No.	担当	具体的事業	具体的な取組内容	令和7年度（2025年度）の取組結果（成果） 令和8年度（2026年度）の取組目標
◆取組の方向性◆　⑶　市民による情報の収集や活用を支援する				
⑦市民の情報収集や活用の支援				
14	中央図書館・図書・情報館	■課題解決に役立つ棚づくり	【中央図書館】 暮らしに身近な課題をテーマ別に選んだ特設展示「暮らし応援棚」をより使いやすくするなど、役立つ棚づくりを目指します。 【図書・情報館】 仕事や暮らしに関する情報について、入門書から専門書まで取りそろえ、都心に集う人々の課題解決に繋がるような、わかりやすいテーマ別配架を行います。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 【中央図書館】 ○札幌市のまちづくりの重要概念、「ユニバーサル」「ウェルネス」「スマート」に沿ったテーマ配架を継続し、新規資料を追加する等市民の役に立つ棚づくりを行った。 ○庁内他部局との連携により行政PR展示を2件実施（「さっぽろウェルネスプロジェクト」「犯罪被害者等への支援について」）し、札幌市の取組をPRした。 【図書・情報館】 ○大テーマ46、中テーマ284、小テーマ761に分類し、時流に合わせて、適宜分類やテーマ名称の変更を実施した。 ○棚のテーマ別配架と合わせて、旬のトピックスにも即応できるよう棚内のミニ展示「ハコニワ」を展開。（44企画） ○開館以来、図書情報専門員によるチーム制によりテーマ棚の管理体制を敷いている。人事異動でメンバー交代があっても、積み重ねた知見を継承できる体制の構築がなされており、テーマ別配架の質を維持している。 【令和8年度(2026年度)取組目標】 【中央図書館】 ○「暮らし応援棚」は、市民の暮らしを応援するというコンセプトのもと、テーマ配架や庁内の他部局と連携した行政PR展示といった取組を継続する。 【図書・情報館】 ○外的与件に応じ、テーマ別配架の内容は、継続的に適宜見直しを実施する。 ○旬を反映した棚内ミニ展示「ハコニワ」を展開。（40企画） ○庁内各部局との連携を強化し、各部局での重点施策等に関する啓発機能を確立する。 ○選書、及びテーマ別配架の質を維持、向上するためのチーム制を基礎として組織体制を適宜検討する。
		達成度	A	
15	中央図書館・図書・情報館	■医療・保健分野など特定分野の情報発信機能の強化【新規】	医療・保健など特定の分野に関する各関係機関と連携し、情報収集と積極的な情報発信に努めます。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 【中央図書館】 ○引き続き認知症やがん情報のコーナーを１か所に別置集約させ、資料とともに関係機関発出の啓発資料を並べることでテーマをわかりやすく伝える配架にしている。 ○長年札幌市内で開業し、地域の医療に貢献してきた医師2名を講師に市民向け医療講座(糖尿病予防に関する講演会)を開催した。19人参加。本講座に合わせ、1階図書室にて関連本のミニ展示を行った。 【図書・情報館】 ○関連部局及び関連機関と連携しながら情報提供を行った。 ○さっぽろウェルネスプロジェクト啓発にかかる連携セミナー、及び特設展示を実施（年度内４企画）、ウェルネス関連本をホームページで毎月紹介（24冊）。 ○保健福祉局２課合同の連携セミナー、及び特設展示を実施（年度内１企画）。 ○令和８年度の合同企画の開催に向けて保健福祉局３課との企画調整を実施した。 【令和8年度(2026年度)取組目標】 【中央図書館】 ○引き続き情報収集と積極的な情報発信を行い、わかりやすい棚づくりに努める。 【図書・情報館】 ○関連部局及び関連機関と連携しながら情報提供を行う。 ○さっぽろウェルネスプロジェクト啓発にかかる連携セミナー、及び特設展示を実施（年度内４企画）ウェルネス関連本をホームページで毎月紹介（24冊）。 ○保健福祉局１課との連携セミナー、及び特設展示を実施（年度内１企画）。 ○保健福祉局２課との連携特設展示を実施（年度内２企画）。
		達成度	A	

No.	担当	具体的事業	具体的な取組内容	令和7年度（2025年度）の取組結果（成果） 令和8年度（2026年度）の取組目標
⑧読書を通じた多文化理解の促進				
16	中央図書館・えほん図書館	■外国語の絵本・児童書の収集及び多文化理解の促進	外国語資料の充実のほか、国際部所属の国際交流員とも連携して外国の文化や考え方の理解促進を図ります。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 【中央図書館】 ○洋書絵本所蔵数（全館）3,236冊、洋書児童書（全館）2,476冊 ○国際交流員による「せかいの絵本おはなし会」を2回（ドイツ語編、ロシア語編）実施した（参加者合計30名）。 ○インドと中国の留学生を講師にした「留学生文化紹介セミナー2025」を開催した。37人参加。札幌留学生交流センターと共催。  【えほん図書館】 ○外国語の絵本は、英語絵本を中心に主な絵本各賞の受賞作品や札幌市の姉妹都市の言語である英語、中国語、ドイツ語、韓国語、ロシア語等の875冊（令和7年度末現在）を収集・提供している（蔵書冊数内訳：英語559冊、中国語205冊、ドイツ語35冊、韓国語24冊、ロシア語20冊、その他の言語32冊。令和7年度は購入と寄贈により外国語絵本21冊を受入（英語18冊、中国語3冊）。 ○登録ボランティア団体による英語のおはなし会の開催（5回、59人参加）。 ○行事「しろっぴーキッズシアターミニ」において、おはなし会とあわせて札幌国際短編映画祭ファミリー＆チルドレン部門出品作品の上映（1日4回開催、計202人参加）。 ○行事「えいごでえほん！ALTといっしょ」において、ALT（外国語指導助手）が英語での読み聞かせのほか、自国の文化の紹介等を行った（2回開催、計128人参加）。 ○「さっぽろのこどもせかいのこども」と題し、外国の文化等に関する館内装飾を実施した。  【令和8年度(2026年度)取組目標】 【中央図書館】 ○今後も継続的に外国語資料の充実を図り、外国語絵本による児童向け読み聞かせ又は展示等により、多文化理解の促進を図る。 ○札幌留学生交流センターとの共催で「留学生文化紹介セミナー2026」を開催し、多文化理解の促進を図る。 【えほん図書館】 ○引き続き絵本各賞の受賞作品やロングセラー等を参考にしながら、来館者のニーズに応えることができるよう情報収集し、未就学児向けの英語絵本等の選択的収集に努めていく。 ○国際プラザと連携した事業を検討する。
		達成度	A	

さっぽろ読書・図書館プラン2022の取組項目の進捗状況（令和7年度（2025年度））

No.	担当	具体的事業	具体的な取組内容	令和7年度（2025年度）の取組結果（成果） 令和8年度（2026年度）の取組目標
17	中央図書館	■郷土資料、歴史的資料の収集・保存・活用	公文書館等の関係施設と連携し、郷土資料・歴史的資料や地域の資料を収集・保存します。また、収集した郷土資料等を活用した所蔵資料展示や関係セミナーなどを実施します。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○郷土資料・歴史的資料や地域資料の収集について、関係機関等と連携し積極的に情報収集を行い、遺漏がないよう努めた。 ○収集した郷土資料の活用として、中央図書館所蔵資料特別展「北海道大学150年　歴史のしずくを見つめる」を開催。北大に関連した資料や北大出身の著名人の本などを展示した。 ○所蔵資料特別展の関連講演会として、北大で生産されている牛乳と酪農をテーマとした講演会「牛乳からテロワールがわかる」（講師：北海道大学大学院農学研究院地域連携経済学研究室 小林国之 准教授）を開催した。44名参加。 ○市民向け講座を開催した。 ・「山鼻未来講座ーヤマハナを知るー山鼻こぼれ話」（講師：和田哲氏）（山鼻未来・ネットワーク協議会と共催）80名参加。 ・「中央図書館の貴重書を知る『蝦夷拾遺』のことなどー古文書の数奇な運命ー」（講師： 三浦龍一 氏）（札幌市社会教育協会と共催）27名参加。  【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○郷土資料・歴史的資料、地域資料を積極的に収集するよう努めていくとともに、収集した所蔵資料等を活用した所蔵資料展示や関係セミナーなどを実施する。
		達成度	A	
◆取組の方向性◆　(4)　読書を支える多様な活動を支援する				
⑨読書活動の推進に取り組む人との連携				
18	保健福祉局障がい保健福祉部	■視覚障がいのある方が利用する図書を製作するボランティアの育成【新規】	点訳・音訳・拡大写本ボランティアの養成講座を実施し、視覚障がい者のある方が利用する図書の製作数を増加させます。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○点訳ボランティア養成講習会 令和6年8月29日~令和7年10月23日(全55回)終了後、ボランティア加入12名 ○音訳ボランティア養成講習会 令和7年6月6日~令和7年11月28日(全24回)終了後、ボランティア加入10名(音訳6名、校正4名) ○拡大写本ボランティア養成講習会 令和7年11月4日~令和8年3月24日(全15回)終了後、ボランティア加入13名 ○点字図書 ・令和7年度製作数：80タイトル ・総数：3,667タイトル ○録音図書 ・令和7年度製作数：167タイトル ・総数：7,193タイトル ○拡大図書 ・令和7年度製作数：4タイトル ・総数：410タイトル  【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○点訳ボランティア養成講習会 令和8年8月27日~令和9年11月4日(全54回)開催予定
		達成度	A	
19	保健福祉局総務部	■読み聞かせボランティアの研修	札幌市ボランティア活動センターでは、読み聞かせボランティアの育成・支援の一環として「子どもへの読み聞かせボランティア研修」を行っており、今後もボランティアの資質向上や新たなボランティアの養成に努めます。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 札幌市社会福祉協議会ボランティア活動センターにおいて、「絵本の読み聞かせボランティア養成講座」を開催。 ＜実施回数＞全2回（各回とも全１日課程、定員21名） ①入門編：R7.5.20、②応用編：R7.10.7 <受講者数> ①入門編：22名、②応用編：15名 【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○令和8年度も引き続き講座を実施し、ボランティアの資質向上及び新たなボランティアの養成に努めていく。 ＜実施予定回数＞全2回（各回とも全１日課程、定員30名） ①入門編：R8.5.19、②応用編：R8.10.6
		達成度	A	

No.	担当	具体的事業	具体的な取組内容	令和7年度（2025年度）の取組結果（成果） 令和8年度（2026年度）の取組目標
⑩読書を支援する人同士のつながりの醸成				
20	中央図書館・えほん図書館	**■ボランティア連携の支援の検討【新規】**	読み聞かせボランティア・個人ボランティア向けに情報共有を呼びかけ、各ボランティアの読み聞かせや、様々な取組の共有化を図るほか、ボランティア同士での相互連携を図っていく機会づくりを検討します。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 【中央図書館】 ○中央図書館を拠点とする児童向けボランティア3団体による合同交流会を実施した。各団体の活動状況やノウハウの共有に加え、共有備品の整理・点検を共同で行うことで連携体制を強化した。 【えほん図書館】 ○えほん図書館に登録しているボランティア団体に対し、おはなし会等の行事の開催場所を提供しており、各団体の行事実施予定については、毎月「えほんとしょかんだより」に掲載して登録ボランティア団体及び個人ボランティア「えほん図書館サポーター」宛てに送付して情報共有を図った。 ○令和6年度に実施した情報共有や相互連携に関するアンケートの結果について検討を行った。 【令和8年度(2026年度)取組目標】 【中央図書館】 ○今後もボランティア団体間の交流会を継続し、活動のノウハウ共有や連携強化を図る。 【えほん図書館】 ○「えほんとしょかんだより」による情報共有については令和７年度の取組を継続する。 ○ボランティア団体の活動パネル展の実施を検討する。 ○10周年記念事業としてボランティアが同日に交代で「おはなし会」等を実施する仮称「ボランティアDAY」の開催を検討する。
		達成度	A	
基本方針２　子どもの読書環境の充実と読書活動の支援				
◆取組の方向性◆　(1)　あらゆる機会・場所で子どもが読書に親しむ環境をつくる				
⑪子どもが身近な地域で読書に親しむ環境の充実				
21	子ども未来局子ども育成部	**■児童会館における読書活動の促進**	児童会館の本の貸出やボランティア・児童会館職員などによる読み聞かせを行います。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○ボランティアや児童会館職員による読み聞かせ活動を実施し、子どもたちの読書への関心を高めることに努めた。また、子どもたちの読書活動の環境を整えることを目的に、利用者の意見を参考にして図書の購入を進めた。 ・ボランティアによる実施事業　1,998回　参加人数　46,784人　ボランティア延べ人数　3,578人 ・児童会館主催による実施事業　13,719回　参加人数　224,234人 【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○ボランティアや児童会館職員、児童による読み聞かせを継続する。また、読書活動により親しみを持っても らえるよう、積極的に子ども同士の読み聞かせの機会を設けるとともに、図書の充実を図るなど環境整備につ いても計画的に取り組む。
		達成度	A	
22	教）総務部	**■開放図書館運営による読書活動の促進**	開放図書館において、地域ボランティアによる蔵書整理・展示装飾などの環境整備や、子どもを中心とした読み聞かせなどの行事を企画・実施します。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○121校の開放図書館で、開放司書を始めとする3,489名のボランティアが活動し、館内装飾・蔵書展示等の基本業務や、図書の貸出・返却などを行った。そのほか、学校ごとに工夫し、読み聞かせや工作会、周年記念イベントなどの行事を計3,394回実施した。 【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○引き続き、地域ボランティアによる館内装飾等を含む基本業務を行うほか、児童向けの読み聞かせを中心とした行事を実施する。
		達成度	A	
23	教）学校教育部	**■札幌市の児童生徒の実態に関する基礎調査**	児童や生徒の状況に関する各種調査の結果より、子どもの読書に関する実態の把握に努めます。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○「札幌市の児童生徒の実態に関する基礎調査」は令和5年度以降実施していないため、「全国学力・学習状況調査報告書」を基に、実態（学校図書館・学校図書室や公共図書館の利用、読書量に関するものなど）を把握した。 ■全国学力・学習状況調査報告書【令和７年度児童生徒質問調査結果(札幌市)】 ・質問22…家にある本の量（雑誌、新聞、教科書は除く） （④101～200冊、⑤201～500冊、⑥501冊以上　に回答した割合の合計） ⇒［小6］39%　［中3］35.7% ・質問23…新聞を読んでいる頻度 （①ほぼ毎日、②週に１～３回、③月に１～３回　に回答した割合の合計） ⇒［小6］19%　［中3］13% ○札幌市教育委員会の独自調査として、小中学校に対し「札幌市全体の共通指標（子どもの自己評価）に基づくアンケート」、高等学校に対し「「札幌市教育振興基本計画」における成果指標の現状値把握に係る調査」を実施し、「読書が好きな子どもの割合」を把握した。 ・読書は好きである （当てはまる、どちらかと言えば当てはまる　に回答した割合の合計） ⇒［小5］71.7%　［中2］68%　［高2］68.4%  【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○令和８年度も、「全国学力・学習状況調査報告書」及び「札幌市全体の共通指標（子どもの自己評価）に基づくアンケート」、「札幌市教育振興基本計画」における成果指標の現状把握に係る調査」を基に、子どもの読書に関する実態把握に努める。
		達成度	A	

さっぽろ読書・図書館プラン2022の取組項目の進捗状況（令和7年度（2025年度））

No.	担当	具体的事業	具体的な取組内容	令和7年度（2025年度）の取組結果（成果） 令和8年度（2026年度）の取組目標
⑫学校図書館の読書環境の充実				
24	教）総務部	**■学校図書館の図書整備の推進**	学校図書館図書標準の達成に努めるとともに、必要な図書を更新していけるよう、必要な予算確保に努めます。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○各学校へ図書予算を配分。蔵書調査結果を各学校に提示し、学校図書館図書標準を踏まえた計画的な図書の整備を行うよう周知した。 ○令和７年度の各学校の蔵書数は現在調査中。令和６年度の図書整備率（蔵書数／学校図書館図書標準）は、小学校全体で133.6%、中学校全体で107.8%となっている。 ○令和６年度の各学校の図書標準達成率（図書整備率100%以上の学校数／学校数）は、小学校で89.2%、中学校で77.7%となっている。 【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○引き続き、学校図書館図書標準の達成に努めるとともに、必要な図書を更新していけるよう、必要な予算確保に努める。
		達成度	A	
25	教）総務部	**■寄託図書の充実**	小・中学校全体の共用図書である寄託図書について、今後も子どもが読書や調べもの学習等で十分活用できるよう、蔵書の充実を図ります。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○事務局会議：６回　運営委員会：２回 ○新規寄託図書整備：小学校　563冊、中学校　725冊 【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○運営委員会、事務局会議開催 ○新規図書購入による寄託図書の充実
		達成度	A	
26	教）学校教育部	**■学校図書館利活用事例の共有**	学校図書館の活用に関するリーフレット等の発行や、児童生徒による取組発表を通して、これからの学校図書館のあり方や利活用の事例等を発信し、各学校における学校図書館の機能の充実を図ります。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○学校図書館活用リーフレットを学校図書館運営に係る研修や、新任学校司書説明会等で活用し、学習における学校図書館の一層の利活用を促進し、学校図書館の機能の充実を図った。 ○「特色ある図書館活用取組展示会」において、市内中学校３校（青葉中、羊丘中、西岡中）の図書委員会(図書局会)が主体となった取組事例を中央図書館における展示の形で発信し、自治的な活動と関連した学校図書館活用と読書活動等の促進を図ることができた。 【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○学校図書館活用リーフレットを活用することで学習における学校図書館の一層の利活用を促進し、学校図書館の機能や役割を生かした取組を推進する。 ○「特色ある図書館活用取組展示会」において、市内中学校の図書委員会(図書局会)取組事例を発表校の生徒による中央図書館内等での展示を通してを推進し、各校における学校図書館の活用と読書活動等の活性化を図る。
		達成度	A	
27	教）学校教育部	**■学校司書の配置**	学校図書館の機能を強化して生徒の読書への興味や関心を向上させ、読書活動や学習活動を促進します。また、司書教諭をはじめとする教員と学校司書が連携して学校図書館を活用した学習を行い、その取組内容を共有していきます。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○夜間中学校を除く市内中学校94校と義務教育学校（後期課程）２校に学校司書を配置した。 ○学校司書配置校において、学校図書館の三つの機能の内、特に「学習センター」機能や「情報センター」機能の充実を図るため、学校司書と司書教諭の合同研修を実施したほか、他機関と連携しながら学校司書対象の研修を実施し、学習における学校図書館及び図書資料の活用を促進した。 【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○夜間中学校を除く市内中学校94校と義務教育学校（後期課程）２校に引続き学校司書を配置するとともに、モデル検証の成果を踏まえ、小学校への配置に向けて検討を行う。 ○学校図書館の機能の充実、学校司書、教員、学校の連携強化により、教科等での学校図書館の活用の機会を引き続き増やし、学習における学校図書館活用を一層進める。 ○義務教育学校となる真駒内学園において、学校司書と地域開放図書館ボランティア（いわゆる「開放司書」）の業務住み分けについて状況を把握し、今後の検討材料とする。
		達成度	A	
28	教）学校教育部	**■学校図書館ボランティアの派遣**	学校図書館の利用が一層促進されるように、司書の資格や子どもに関わる活動経験を有する学校図書館ボランティアを派遣し、貸出業務や環境整備、子どもの主体的、意欲的な読書活動や学習活動を支援します。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○開放図書館が設置されていない小学校72校に学校図書館ボランティアを186名派遣した。 ○学校図書館ボランティアが派遣された小学校においては、書架整理、環境整備、図書修理、読み聞かせ等の取組を行い、読書活動の充実を図った。 ○学校図書館ボランティアと開放司書を対象とした合同研修会を実施し、学校図書館運営に関わる知識や技能の向上を図った。 【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○引き続き、開放図書館が設置されていない小学校に学校図書館ボランティアを派遣するとともに、学校図書館ボランティアの取組内容に係る研修の機会を設ける等、子どもの読書活動の充実を図る。
		達成度	A	
⑬子どもが利用する施設の読書環境の充実				
29	子ども未来局子育て支援部	**■子育てサロンや保育所開放における読書活動**	子育てサロンや保育所開放で、親子を対象とした読み聞かせや、保護者を対象とした絵本に関する講座を実施します。また、子育てサロンや保育所開放、こそだてインフォメーションの絵本の整備を進めます。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○子育てサロンや保育所開放において、職員や子育てボランティアによる読み聞かせを実施した。（4,240回、41,437人） ○子育てサロンや保育所開放において、親子が手に取り絵本にふれやすい環境作りを行った。 ○各区保育・子育て支援センターや区健康・子ども課で実施の子育て講座において、絵本や読み聞かせに関する内容の講座を実施した。 【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○子育てサロンや保育所開放において、親子への読み聞かせを引き続き実施する。 ○区保育・子育て支援センター子育てサロン、こそだてインフォメーション、保育所等の絵本の整備を行う。
		達成度	A	
30	子ども未来局子育て支援部	**■おすすめ絵本の紹介や貸出の実施**	絵本に対する興味や関心を高め、より多くの絵本に親しむきっかけづくりとなるよう、子育て支援センター等で、おすすめ絵本を展示するなどの取組を実施します。また、家庭での読み聞かせを通して親子のふれ合いを深められるよう、絵本の貸出を行います。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○各区保育・子育て支援センター子育てサロンにおいて季節に合わせた絵本やおすすめ絵本を展示、紹介した。 ○各区保育・子育て支援センター、こそだてインフォメーションにおいて絵本の貸出を実施した。（6,436回） 【令和8年度(2026年度)取組目標】 各区保育・子育て支援センター、各区こそだてインフォメーション、保育所等においておすすめ絵本の展示や紹介を行い、家庭での読み聞かせにつながるよう情報提供を行う。
		達成度	A	

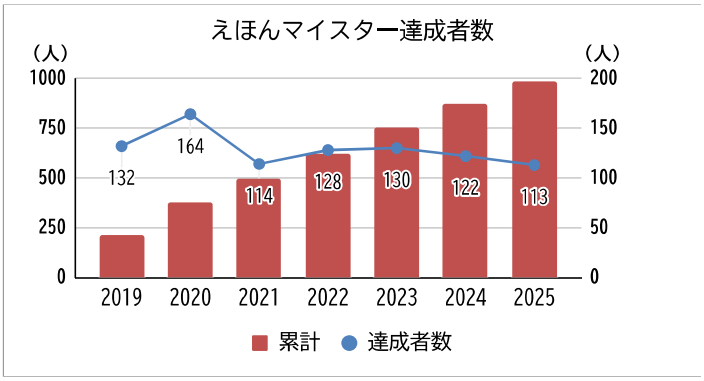
さっぽろ読書・図書館プラン2022の取組項目の進捗状況（令和7年度（2025年度））

No.	担当	具体的事業	具体的な取組内容	令和7年度（2025年度）の取組結果（成果） 令和8年度（2026年度）の取組目標
31－①	子ども未来局子育て支援部	■絵本の読み聞かせの実施	乳幼児が絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像する楽しさを味わうことができるよう、教員、保育士、ボランティアによる読み聞かせを行います。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○各区保育・子育て支援センター子育てサロンにおいて、利用親子を対象に職員やボランティアによる読み聞かせを実施した。（4,240回、41,437人）【再掲】 ○各区保育・子育て支援センター保育係、保育所において園児に向けて日常的に読み聞かせを実施した。 【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○子育てサロンなどにおいて、子育てボランティアが読み聞かせを行う機会を作る。 ○日常的に様々な機会を通して、職員による読み聞かせを実施する。
		達成度	A	
31－②	教）学校教育部	■絵本の読み聞かせの実施	乳幼児が絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像する楽しさを味わうことができるよう、教員、保育士、ボランティアによる読み聞かせを行います。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○３歳児、４歳児、５歳児、それぞれの年齢やその時期の幼児の興味や関心に応じた絵本を教師が選び、読み聞かせを行った。絵本を読み聞かせる際には、幼児が物語の世界に浸り、想像する楽しさを十分に味わうことができるよう、教師の背面を整理し刺激を少なくするなど環境に配慮したり、学級で友達と一緒に見る・ホールで見る・絵本のコーナーで見るなど、絵本の内容に合った場で読む工夫をしたりした。また、絵本の主人公（緑色の虫）を公園で探そうとしたり、絵本の中のセリフを、生活の様々な場面で言って楽しむなど、絵本の世界に浸ることで、イメージが広がり、遊びの中で楽しむ姿が見られた。 【令和8年度(2026年度)取組目標】 乳幼児が絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像する楽しさを味わうことができるよう、教員、保育士、ボランティアによる読み聞かせを毎日行い、その経験や絵本の内容を遊びや生活に生かせるようにする。
		達成度	A	
32	子ども未来局子育て支援部	■絵本基金「子ども未来文庫」事業	企業や団体、市民の皆様からの絵本の寄贈を募り、絵本基金「子ども未来文庫」の絵本として子育て支援総合センター、各区保育・子育て支援センター、市立保育所、各区こそだてインフォメーションなどにおいて子どもが絵本とふれあう機会を広げていきます。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 複数の企業より前年度に引き続き寄贈の申し込みがあり、札幌市所管の子育て支援施設、札幌市立保育所等で絵本の充実を図ることができた。 ・令和６年度寄贈絵本　17件　964冊 ・令和７年度寄贈絵本　15件　997冊 【令和8年度(2026年度)取組目標】 ホームページやさっぽろCSRインフォメーション等の広報を活用し、周知する。
		達成度	A	
⑭親子で利用できる図書館や居場所としての図書館の研究				
33	えほん図書館	■乳幼児・保護者向け行事の実施	乳幼児が図書館を利用するきっかけとなる機会や親子で絵本に親しむ場を提供するため、子どもの発達段階に応じたおはなし会やワークショップ等の行事を実施します。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○年齢別おはなし会を実施した。 ・0歳児向け（毎週木曜）　48回開催 991人参加 ・1～2歳児向け（毎週火曜）　47回開催 772人参加 ・3歳児以上向け（毎月第4土曜）12回開催 289人参加 ○えほんとわらべうたの会を実施た。 2回開催 75人参加 ○ガラスにお絵かきワークショップを実施した。 2回開催 36人参加 ○ぬいぐるみおとまり会を実施した。 2回開催 55人参加 ○クリスマスカード作りワークショップを実施した。 1日2回開催 53人参加 ○おいしい絵本ライブを実施した。1日2回開催64人参加 ○ハロウィンおはなし会を実施した。1日2回開催210人参加 【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○年齢別おはなし会を実施する。 通年開催 ○絵本とわらべうたの会を実施する。 2回 ○ガラスにお絵かきワークショップを実施する。 2回 ○クリスマスワークショップを実施する。 1回 ○ぬいぐるみおとまり会を実施する。 2回
		達成度	A	
34	中央図書館	■「親子で利用したい図書館」の研究【新規】	子どもと図書館へ行きたいと思っても「騒がしくして他の人に迷惑をかけるかも？」と躊躇する子育て世代に対して子どもと一緒に楽しめるおしゃべりタイムなど「親子で利用したい図書館」の調査研究を進めます。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○乳幼児向け絵本と育児書を併せて配架したコーナー『PAPA MAMA BOOKS』の蔵書や備品を充実させるとともに、電子図書館のPRを実施した。 ○隣接する場所に授乳室を整備し、親子で快適に利用できる環境づくりを推進した。 【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○引き続き資料や設備の整備に努めるとともに、利用状況に応じた環境改善を行い、親子が安心して利用できる魅力ある図書館づくりを図る。 ○将来的な図書館の改修や整備にあわせて会話可能なエリアと静寂エリアを区分けする等、親子で安心して利用できる図書館について検討を継続する。
		達成度	A	

No.	担当	具体的事業	具体的な取組内容	令和7年度（2025年度）の取組結果（成果） 令和8年度（2026年度）の取組目標

◆取組の方向性◆　⑵　市民が子どもの読書活動推進の意識を共有する

⑮読書に関する保護者への啓発

No.	担当	具体的事業	具体的な取組内容	令和7年度（2025年度）の取組結果（成果） 令和8年度（2026年度）の取組目標
35	中央図書館・えほん図書館	■家庭読書の普及・啓発	乳幼児期から家庭で読書を楽しむ機会を増やす取組として、小学校入学前までに絵本を1,000冊読むことに挑戦するプログラム「めざせ！えほんマイスター」を実施します。また、子ども読書の日などに合わせて、読み聞かせや展示、映画会などの行事を行うとともに、読書の日の周知及び読書活動の啓発に努めます。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 【中央図書館】 ○『子ども読書の日』及び『こどもの読書週間』に合わせ、全館で特別行事を企画・実施した。おはなし会や特別展示等の多角的な普及啓発活動を展開し、子どもの読書意欲の醸成を図った。 【えほん図書館】 ○「めざせ！えほんマイスター」を継続実施した。 ・R7年度新規登録者405人（累計4,588人） ・R7年度千冊達成者 113人（累計986人） ○新規登録を促すため、子ども読書の日である4月23日を含む4月19日から5月20日まで新規登録キャンペーンを実施した。期間中の新規登録者は71人で、平常時よりも増加した。  【令和8年度(2026年度)取組目標】 【中央図書館】 ○全館での特別行事の実施を通じ、家庭における読書活動の推進と新たな図書館利用の促進を図る。 【えほん図書館】 ○「めざせ！えほんマイスター」を継続実施。R7年度も子ども読書の日である4月23日を含む4月18日から5月19日まで新規登録キャンペーンを実施予定。
		達成度	A	
36	教）学校教育部	■保護者に向けた読書に関する情報発信	幼児が絵本や物語などに親しみ、読み手と心を通わせる楽しさを味わうことができるように、保護者に対して幼児期の読書に関する情報発信や保護者自身が読み聞かせを体験する講座を市立幼稚園で行います。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○各学年月１回、家庭への絵本の貸し出しを行う際に、幼児が絵本の世界をどのように楽しんだのか、その様子やつぶやきを記録するカードを配付し家庭と園で共有したり、園やＰＴＡから、便りや掲示物で、保護者向けに絵本についての情報発信を行った。 ○外国籍（アメリカ）の保護者が、幼児との交流も兼ね、英語で絵本の読み聞かせを行った。 【令和8年度(2026年度)取組目標】 幼児が絵本や物語などに親しむきっかけをつくり、絵本を通して、様々な人と触れ合ったり心を通わせたりする経験ができるようにするとともに、保護者に対して、絵本を通した取り組み事例について情報発信をする。
		達成度	A	
37	中央図書館	■保護者のための読み聞かせ講座	乳幼児・小学生の保護者を対象に、図書情報専門員が絵本読み聞かせの基本に関する講座を開催することで、保護者が読み聞かせの重要性を学ぶ場を提供します。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○外部講師としてUHB北海道文化放送アナウンサー千須和侑里子氏を招き、読み聞かせの技能やポイントを解説する市民向け講座を実施した。専門的な知見に基づく実践的な内容により、39名の参加者へ読み聞かせの魅力と手法を周知した。 【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○乳幼児・小学生の保護者を対象に、外部講師等による講座を継続して実施し、読み聞かせの手法や重要性を学ぶ機会を提供する。
		達成度	A	

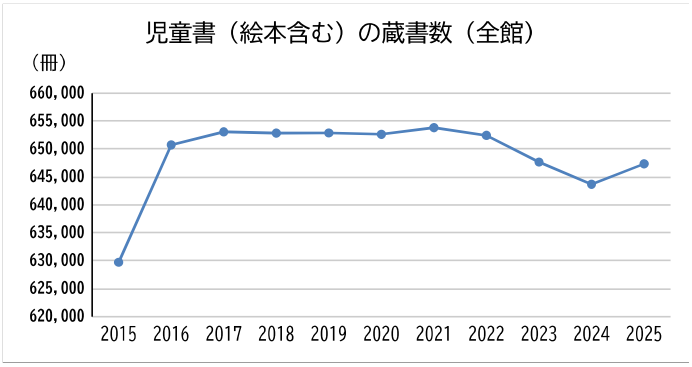
⑯子どもが読書に関心を持てる働きかけ　重点

No.	担当	具体的事業	具体的な取組内容	令和7年度（2025年度）の取組結果（成果） 令和8年度（2026年度）の取組目標
38	中央図書館・えほん図書館	■読書習慣を身に付けるきっかけづくり	進路探究の講話を踏まえ、図書館資料を活用して作品を制作する「小中学生向けキャリア教育事業」や、就学前の子どもとその保護者を対象に、本の楽しさを体験しながら、自然と本に親しむ「図書館デビュー」のイベントなど、進んで読書習慣を身に付けるきっかけづくりに取り組んでいきます。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 【中央図書館】 ○「小中学生向け読書活動推進事業」に再編し、従来の「進路」に加え「雪」と「福祉」の三つのテーマから選択できる形で実施し、5校が参加した。 ○中学生までを対象とした読書ノート達成事業『めざせ！こども館長』の実施場所を市内図書館のほか、地区センターや区民センター図書室へ拡大し、身近な場所で読書意欲を醸成できる環境を整備した。 【えほん図書館】 ○「図書館デビュー」を通年開催した。5～7月及び9～3月（午前・午後）の計20回開催　参加者 合計1,321人。 【令和8年度(2026年度)取組目標】 【中央図書館】 ○家庭における読書環境を支援するため『家族で楽しむ読書講座』を新たに実施し、身近な環境へのアプローチを強化する。 ○読書ノート達成事業を継続し、子どもたちの継続的な読書意欲と達成感の醸成を図る。 【えほん図書館】 ○「図書館デビュー」を年間19回（5～7月及び9～3月の午前〈11月を除く〉・午後）開催予定。
		達成度	A	
39	中央図書館	■子ども向け図書館情報の発信	図書館ホームページ（キッズページ、ティーンズページ）による情報発信により、読んで楽しく、学習や生活に役立つページづくりに取り組みます。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○図書館ホームページ（キッズページ・ティーンズページ）を活用し、行事や展示等のタイムリーな情報発信に努めた。 ○公式Instagramにおいて、展示や行事、各種取組を継続的に発信した。 ○「こどもの森だより」を毎月発行し、展示や行事の案内やおすすめ本を紹介した。 【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○各媒体の特性に応じた情報発信を継続するとともに、展示や行事、おすすめ本の紹介を通じて、親子が図書館をより身近に感じられる魅力的な情報提供の充実に努める。
		達成度	A	

さっぽろ読書・図書館プラン2022の取組項目の進捗状況（令和7年度（2025年度））

No.	担当	具体的事業	具体的な取組内容	令和7年度（2025年度）の取組結果（成果） 令和8年度（2026年度）の取組目標
40	中央図書館	■子ども向け行事の実施	おはなし会や工作会、司書体験等などを開催し、読書への興味関心を高めます。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○子供向け行事の実施状況 ・春のビンゴまつり（454人参加）、せかいの絵本おはなし会（2回：30人参加）のほか、ぬいぐるみのおとまり会（小1・2対象）や一日司書体験など、発達段階に応じた体験型行事を実施した。 ・興味関心を広げる取組として「よむくじ」（348人参加）やPOPコンテスト（627点応募）を実施した。 ・掲示板tane（幼児・小学生対象：10回）やsora（中高生対象：5回）を通じ、継続的な情報発信に努めた。 【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○行事や展示による直接的なアプローチに加え、掲示板「tane」「sora」を通じた情報発信を継続し、幼児から中高生まで幅広い層の子どもたちが、日常的に図書館や本に触れられる環境づくりを推進する。
		達成度	A	
41	中央図書館・えほん図書館	■乳幼児向け図書の展示やブックリストの充実	乳幼児期の読書のきっかけづくりとして、また、読書への関心が高まるように、乳幼児が興味を持つ対象や季節の行事などをテーマとした展示を行うほか、年齢別・テーマ別ブックリストの配布を行います。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 【中央図書館】 ○児童展示コーナーにおいて、クリスマスやハロウィンなど年中行事や春・夏・秋・冬など、幼児の興味・関心に合わせたテーマ展示を実施した（7回）。 ○市内で所蔵する超大型絵本リストを最新の情報に更新・配布し、図書資源の有効活用と周知に努めた。 【えほん図書館】 ○特設展示コーナーにて、夏をテーマに「ひんやりつめたいえほん」、表紙の色ごとに集めた「きょうはなにいろ？」などのほか、季節の行事のたなばた、ハロウィン、クリスマス等をテーマに展示を行った。当初計画していた18回に加え、絵本作家の追悼展示を含め、計20回実施した。 ○年齢別・テーマ別ブックリストを札幌市電子図書館で提供した。 【令和8年度(2026年度)取組目標】 【中央図書館】 ○引き続き、幼児の関心に合わせた多彩なテーマ展示を展開し、ブックリストの配布を通じて本に親しむ機会を提供する。 【えほん図書館】 ○令和7年度（2025年度）の取組を継続する。特設展示は19回を予定している。
		達成度	A	
42	中央図書館	■小中高生向けのブックリストの情報提供	小学生向けに読んでほしい本のリスト化、中高生向けには、北海道にゆかりのある作家や映画の原作本など関心の高い本を積極的に展示するなど、積極的な情報提供により読書のきっかけづくりに取り組みます。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○図書館ホームページにおいて、小学生向け（低・中・高学年別）および中高生向けのテーマ別ブックリストを継続的に掲載し、発達段階に応じた情報提供に努めた。 ○中高生の感性に合わせた「音楽」や「ファンタジー」、「大人向け絵本」などの多彩なテーマ展示を実施した（7 【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○図書館ホームページ上でのブックリストの掲載や多彩な展示企画を継続し、発達段階に応じた情報提供に努める。
		達成度	A	
◆取組の方向性◆　⑶　発達段階ごとに効果的な読書支援に取り組む				
⑰幼少期に読書に親しめる環境の充実				
43	子ども未来局子育て支援部	■絵本とふれあう機会の充実（さっぽろ親子絵本ふれあい事業）	親子が心ふれ合うきっかけをつくるため、乳幼児健診時に絵本を配布し、家庭での読み聞かせに関する情報を提供します。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○４か月児健康診査の際に、さっぽろ親子絵本ふれあい事業として絵本を１冊配布した。 ○子どもと保護者のふれあいの機会になるよう、チラシの配布やさっぽろ子育て情報サイトでの動画の配信等を実施した。 令和６年度　9,541冊 令和７年度　9,215冊 【令和8年度(2026年度)取組目標】 現状維持により実施する。
		達成度	A	
44	えほん図書館	■幼稚園・保育所などの団体利用	えほん図書館において、幼稚園や保育所などの園児を団体で受け入れ、読み聞かせや、資料閲覧等の読書活動に関するサービスを提供します。また、来館できない幼稚園や保育所などへ図書館職員が出向く訪問おはなし会も実施します。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○延べ6回で120人の団体利用（館内利用）があり、内2回はおはなし会付きプログラムを実施した。 ○訪問おはなし会を10月から再開した。 【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○団体の受け入れを継続するとともに、団体に向けたPR活動に努めていく。
		達成度	B	

さっぽろ読書・図書館プラン2022の取組項目の進捗状況（令和7年度（2025年度））

No.	担当	具体的事業	具体的な取組内容	令和7年度（2025年度）の取組結果（成果） 令和8年度（2026年度）の取組目標
45	中央図書館・えほん図書館	■絵本・児童書の充実	子どもの読書環境の充実に向けて、絵本・児童書の蔵書数の維持と増加に取り組みます。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 【中央図書館】 ○絵本受入れ冊数（全館） 8,103冊 ○児童書受入れ冊数（全館） 9,490冊 ○児童書（絵本を含む）の蔵書数（全館） 639,132冊（前年度比▲4,775冊）冊  【えほん図書館】 ○令和7年度は、以下のとおり資料を追加・更新し、蔵書冊数は約28,400冊となった。 ・絵本等購入約960冊・寄贈等約200冊、紙芝居購入48冊 ○開館時より、絵本の魅力を伝える工夫として、以下の取組を行っている。 ・子どもの目線に合わせ低書架に統一 ・表紙が見える陳列 ・人気のあるテーマを別置で展示 ・子どもに身近なテーマや季節等の絵本を紹介する展示を定期的に入れ替えながら紹介（令和7年度：「ハロウィンのえほん」「ひんやりつめたいえほん」「きょうはなにいろ」等） ・年齢別、テーマ別ブックリストを電子図書館で提供 ○基本計画で定めた蔵書規模に既に達しており、施設規模からも蔵書数の増加は困難であることから、当面は令和6年度末（28,600冊）の蔵書規模を上限として適正規模の検討と質の向上に努めることとし、購入等による資料の追加と並行して、複本や劣化した資料の除籍等を実施した。 【令和8年度(2026年度)取組目標】 【中央図書館】 ○引き続き制定された基準に沿った資料収集を進めるとともに、子どもの読書環境の充実に向けて、絵本・児童書の蔵書数の維持と増加を図る 【えほん図書館】 ○新刊の選択的収集及び複本等の整理を継続しながら、蔵書の適正規模を検討し質の向上を図っていく。 ○引き続き館内の特設展示コーナーやジャケット架で絵本を紹介していくなど、来館者への情報提供に努めていく。
		達成度	A	
⑱学齢期に読書に親しめる環境の充実				
46	教）学校教育部	■読書に親しむ機会の充実	各学校における始業前や教科の時間を使った一斉読書を実施するとともに、休み時間や放課後の時間を活用した読み聞かせやブックトーク、新刊本の紹介など、子どもの読書意欲の向上を図る機会を促進します。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○学校図書館の蔵書の充実や朝の一斉読書の実施、読書ウイークにおける様々な取組、学校司書の配置等、子どもが本に親しむ機会の充実が図られた。 ○小学校においてはボランティア等、中学校においては図書委員会(局会)や学校司書による読み聞かせの実施、図書紹介等を行い、読書意欲の向上を図った。また、「特色ある図書館活用展示会」において、読書活動に係る取組を実施し、中央図書館での展示や各校における表彰等を通して、その成果の発信・啓発を行った。 【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○令和８年度も、中央図書館等と連携を図りながら取り組む。
		達成度	A	
47	中央図書館	■小・中学校向け学習支援及び学校司書の支援	小・中学校向け学習支援及び学校司書の支援	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○総合学習等における施設見学の受け入れ（小学校4校：計320人）を実施し、公共図書館の役割についての理解深化を図った。 ○図書館ホームページ（キッズページ）において、小中学生向けの英語絵本リストを公開し、多様な本に触れる機会の提供に努めた。 ○関係部署との連携により、学校司書向け研修の共同開催や講師派遣を実施し、学校図書館活動の充実と専門性の向上を支援した。 ○中央図書館主催の専門研修への参加案内や期間限定の動画配信を通じ、学校司書の資質向上に向けた継続的な支援を行った。 ○学校図書館運営に関する相談窓口やQ&A、団体貸出制度について、学校司書に対し適切な情報提供と周知を図った。 【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○学校等への施設見学の受け入れや適切な情報提供を継続するとともに、学校司書への研修・相談支援を通じて、学校図書館とのさらなる連携強化に努める。
		達成度	A	
⑲特別な支援を要する子どもの読書環境の充実				
48	中央図書館	■障がいのある子どもたちへの対応の充実	視覚障がい者情報センターなどの連携をより促進するとともに、障がいのある子供も楽しめる点字絵本や大活字本、布の絵本、デジタル絵本など、多様な障がいに対応した本の収集に努めます。障がいのある子供が図書館を利用しやすいように、様々なサービスのありかたについて検討を進めます。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○北海道札幌視覚支援学校の児童が中央図書館へ来館し、実際に館内利用してもらった。 ○デジタル絵本を中心に多様な特性に応じた資料の収集・充実に努めた。 ・蔵書数（全館） 点字絵本80冊、大活字本275冊、布の絵本32冊、デジタル絵本584冊 【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○学校を含めた関係各所と連携し、障がいのある子どもが図書館を利用しやすいよう様々なサービスを検討していく。 ○引き続き、多様な障がいに対応した本の収集に努める。
		達成度	A	

No.	担当	具体的事業	具体的な取組内容	令和7年度（2025年度）の取組結果（成果） 令和8年度（2026年度）の取組目標
◆取組の方向性◆　⑷　子どもの興味や関心に応じた活動を支援して物事を探究する姿勢を養う				
⑳子どもの読書を支える人への支援				
49	教）学校教育部	**■司書教諭に対する研修の充実**	札幌市では、子どもの読書活動や学習活動を支えるため、司書教諭や学校司書、開放司書、開放ボランティア、幼稚園教諭、保育士等への研修の実施など、人材育成や職員の資質向上を支援し、読み聞かせ等の実践的能力の向上や、学校図書館運営の充実にもつなげていきます。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○令和７年度（2025年度）新たに発令された司書教諭及び学校司書を対象として、「令和７年度札幌市司書教諭等研修」を５月と６月に実施した。前年度の動画による研修を廃止して参集による研修を５月に位置付け、司書教諭及び学校司書の役割について説明するとともに、学校図書館の運営業務や１年間の見通しをもつことができるような研修を実施した。 ○６月の研修では、講師による図書館づくりについての講話及びワークショップ、施設見学を行うことで、司書教諭等が図書館づくりの工夫をし、より魅力的な図書館運営ができるような内容で実施した。 ○他校の司書教諭や学校司書との実践交流を通して、自校の図書館運営に活用できる工夫について共有することができた。 【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○令和８年度（2026年度）新たに発令された司書教諭及び学校司書を対象として、「令和８年度札幌市司書教諭等研修」を５月と７月に実施予定。全２回の集合研修では、学校図書館の運営業務やより魅力的な図書館づくりの工夫について学ぶとともに、受講者同士の交流時間を確保して日頃から相談・情報交換ができる関係性の構築を促す。これにより、学校図書館運営業務に関する疑問や課題をスムーズに解決し、より適切な学校図書館運営の実現を目指す。
		達成度	A	
50	子ども未来局子育て支援部・教）学校教育部	**■幼稚園教諭や保育士等に対する研修の充実**	絵本の意義や選び方、読み聞かせなどについて、幼稚園教諭や保育士等に対する研修を行い、能力の向上を図ります。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 【子ども未来局子育て支援部】 ○各施設において、園内研修等を通し、読み聞かせについて質の向上を図った。 【教）学校教育部】 ○市立幼稚園を会場として行う「参観による研修（訪問研修）」の中で、保育士に対して絵本コーナー（共用・学級）の環境づくりにおいて工夫している点やその効果についての研修を行った。子どもたちが興味や関心をもとに絵本を自由に手に取り、遊びを広げたり深めたりできるよう、発達の段階や季節に合わせて絵本を選定、レイアウトしていることを取り上げ、その効果について共有することで学びを深めた。 【令和8年度(2026年度)取組目標】 【子ども未来局子育て支援部】 ○各施設において園内研修等で積極的に取り組めるよう、読み聞かせ関連の情報や資料提供を適宜行う。 【教）学校教育部】 ○市立幼稚園の保育実践を発信する場において絵本の意義や選び方、子どもが絵本に親しむための環境構成や読み聞かせの方法など、絵本の活用に関する研究実践園の実践を発信する。
		達成度	A	
51	中央図書館	**■学校司書や学校開放図書館ボランティアに対する研修の充実**	学校司書（中学校）、学校図書館ボランティア（小学校）に向けた研修を行い、学校図書館の充実を図ります。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○中央図書館主催の専門研修（児童サービス研修、スキルアップ研修）への参加案内や期間限定の動画配信を実施し、学校司書の資質向上に向けた継続的な学習機会の提供に努めた。 ○関係部署との連携により、学校図書館活動の充実をテーマとした研修の共同開催や講師派遣を行い、学校司書及び開放図書館ボランティアの専門性向上と連携強化を図った。 【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○受講者アンケート等を活用したニーズの把握に基づき、引き続き研修内容の充実に努めるとともに、関係部署との連携を強化し、共同開催や動画配信等の手法を通じて、学校司書等の資質向上を支援する。
		達成度	A	
㉑子どもの読書推進に向けた関係団体との連携				
52	教）学校教育部	**■学校と研究機関等との連携**	民間教育研究団体をはじめ、小中学校の教諭や民間企業インストラクター等を講師として、学校における司書教諭の役割や学校図書館の運営・活用に関する実践的な研修を実施するとともに、札幌市における取組の実際について研修し、実践的能力の向上を図ります。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○民間企業インストラクターを講師として、司書教諭及び学校司書向けの新たな学校図書管理用ソフトウェア（LibMax）の導入時研修を実施した。各校の司書教諭及び学校司書等の１～２名が参加し、基本的な操作方法について学び、ソフトウェア導入とデータ移行等実践的能力の向上を図ることができた。また、研修時の説明を動画にまとめたものを学校へ提供し、必要に応じて視聴できるようにした。 【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○司書教諭等研修第１日目において、小学校教諭、中学校教諭、管理職を講師として、学校における司書教諭の役割や学校図書館の運営業務、教職員の連携に関する研修を実施する。 ○司書教諭等研修第２日目において、札幌市図書・情報館の司書を講師として、司書の工夫が生きる図書館づくりのヒントとなる実践的な研修を実施する。
		達成度	A	
53	中央図書館・えほん図書館	**■図書館と研究機関・他の図書館との連携**	幅広い分野で子どもの読書活動を進めるため、研究機関や児童書専門の図書館などと協力して事業を実施するなど、連携を推進していきます。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 【中央図書館】 ○外部機関（CISEネットワーク）との連携により、市立中学校への「調べる学習支援トランクキット」の貸出（35回）を継続し、学校図書の活用促進と調べ学習の充実に寄与した。 ○「サイエンス・フォーラムinさっぽろ」において、専門家による「ゴジラ音楽と緊急地震速報音」（86名参加）等の講演を実施し、市民が科学や文化に関する専門情報に親しめる機会を創出した。 【えほん図書館】 ○ふきのとう文庫制作の布絵本を所蔵し、同文庫の刊行物「ふきのとう文庫だより」を配架して活動を紹介した。布絵本は令和4年度より館内閲覧を再開している。同文庫とは布絵本の取扱の相談を含め必要に応じ情報交換を行うこととしている。 ○絵本専門図書館であるという特徴から、他の自治体や図書館及び関係者による視察等を受け入れる機会が多く、情報交換を行っている。（計10回） 【令和8年度(2026年度)取組目標】 【中央図書館】 ○引き続き、研究機関等と協力した講演会や取組を実施し、専門的な情報に触れる機会を提供することで、子どもたちの幅広い分野における読書活動の推進を図る。 【えほん図書館】 ○ふきのとう文庫との情報交換及び同文庫の情報発信を継続していく。また、他の図書館等による視察等を受け入れ、情報交換を行っていく。
		達成度	A	
54	えほん図書館	**■図書館とボランティア団体との連携**	えほん図書館において、登録ボランティア団体の活動の場を提供するとともに、個人ボランティア「えほん図書館サポーター」と返本等のフロア活動や絵本修理等で連携して図書館運営を推進します。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○登録ボランティア団体12団体がおはなし会等の行事を計56回実施し、参加者は合計2,246人となった。 ○個人ボランティア「えほん図書館サポーター」が絵本修理の活動を行実施した。 【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○引き続きボランティア団体による行事の場を提供し、えほん図書館サポーターによる絵本修理等の活動をサポートする。
		達成度	A	

No.	担当	具体的事業	具体的な取組内容	令和7年度（2025年度）の取組結果（成果） 令和8年度（2026年度）の取組目標

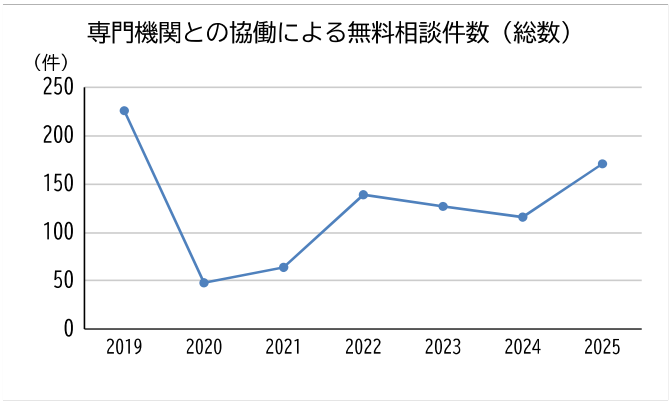
基本方針３　全ての市民の学びと情報の拠点としての環境整備

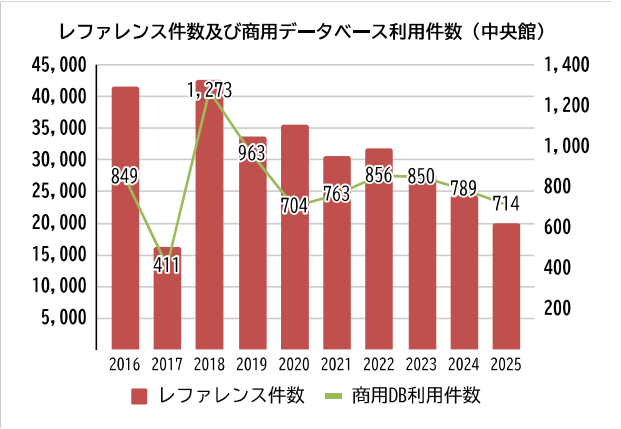
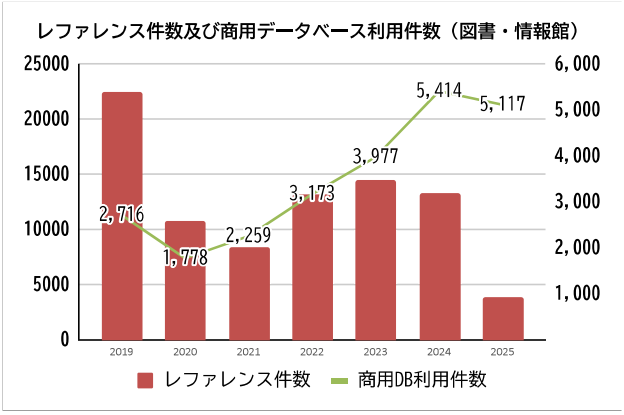
◆取組の方向性◆　⑴　全ての市民の課題解決を支援する

㉒市民の身近な課題解決の支援

No.	担当	具体的事業	具体的な取組内容	令和7年度（2025年度）の取組結果（成果） 令和8年度（2026年度）の取組目標
55	図書・情報館	■身近な課題解決の支援	図書館の資料と情報だけでは解決が難しい課題について、専門機関や団体を紹介するサービスを充実させ、多面的な情報収集を図ることで課題解決の支援を行います。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○WORK（仕事に役立つ）関連として、起業に役立つセミナーやビジネススキルの向上につながるセミナーを、当初計画８件に対して23件開催した。（参加者542名） 〔例〕「女性のための起業のヒント」「マーケティングセミナー～データベース『MieNa』を使って商圏分析」「税理士による創業セミナー in 札幌市図書・情報館」 ○LIFE（暮らしを助ける）、ART（芸術に触れる）関連として、暮らしの課題解決に役立つセミナーや芸術に関するセミナーを、当初計画10件に対して28件開催した。（参加者1617名） 〔例〕「歩くことからすべてが始まる！～フットパスの楽しみ方～」「ともに生きるまちへ～障がいと認知症を知り、支えあう地域づくり～」「SIAFオープントーク　アーティストと考えるモエレ沼公園の可能性」 ○WORK、LIFEのテーマ別の各棚において、庁内部局や関連する専門機関のパンフレットやリーフレットを配架し、課題解決のための動線づくりを継続的に行った。 〔例〕「法テラスリーフレット（法テラス札幌）」「創業の手引き（日本政策金融公庫）」 【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○ビジネスパーソンに、セミナーを通じて起業や仕事に役立つ情報提供を行う。また、図書・情報館の各種サービスの利用喚起を図ること、継続的に学びを深める機会を提供する。 ○各種団体等と連携し、暮らしの課題解決や芸術に触れるきっかけづくりとなる利用者のニーズに合ったセミナーやイベントを開催する。 ○市況環境の変化や、外的与件に即応するため、当初計画外の案件にも柔軟に対応できる体制を整える。
		達成度	A	
56	図書・情報館	■働く世代の学びの支援【新規】	知的好奇心が湧くような選書や図書展示を通じて、より豊かな社会生活を営むための暮らしや仕事に役立つ情報を提供し、働く世代の学びを支援します。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○連携企画：庁内外の団体等との連携企画による特設展示（29企画） 連携企画による特設展示においては、館のサイネージの活用、１，２階拡大展示、ハコニワの活用や、連携先団体のリソースを活用した多様な展示を実施した。〔例〕「NoMaps POP-UP Library（ハコニワジャック、サイネージ活用）」、「男女共同参画課連携展示（サイネージ活用」 ○アート展示：SIAFやhitaruとの連携展示をはじめ、オリジナル展示（11企画　※うち10企画は連携企画にも含む） ○セミナー展示：セミナーの実施に合わせ、より学びを深めるための展示（21企画　※うち2企画は連携企画、ハコニワ展示にも含む） ○オリジナル展示：（1企画） ○ハコニワ展示：旬のトピックスにも即応するミニ展示（44企画）。 ○知のかけら、知のひらめき展示：司書の”人”が見える、図書・情報館ならではの企画展示（知のかけら7企画、知のひらめき３企画） ○セミナー：「最新の情報は人の頭の中に」をコンセプトとし起業や知的好奇心を喚起するセミナーを開催（56企画、参加者数：2,159名）【再掲】 【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○庁内、専門機関や団体との連携によって、展示に付加価値を盛り込むことにより、市民、連携機関、札幌市図書館の３者価値を実現するための企画を行う。 ○セミナーやイベントの場を活用し、最新の情報を提供することを目的とした取り組みを行う。 ○市況環境の変化や、外的与件に即応するため、当初計画外の案件にも柔軟に対応できる体制を整える。
		達成度	A	

㉓レファレンス機能の更なる充実

No.	担当	具体的事業	具体的な取組内容	令和7年度（2025年度）の取組結果（成果） 令和8年度（2026年度）の取組目標
57	図書・情報館	■専門機関との協働による無料相談窓口の実施【新規】	専門機関による相談窓口では相談員と司書との連携を深め、相談内容に応じてレファレンスや資料提供を共にできる仕組みを検討します。また、当該機関と連携しセミナーを実施します。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○外部専門団体による無料相談会を計157回開催し、171件の相談を受けた。連携団体の都合による開設回数の増加に伴い相談件数が50件以上、また開設数あたりの相談件数も1.02→1.09と増加した。 また、ホームページのほかSNSを活用した告知を行った。 ・実施機関：日本政策金融公庫　北海道よろず支援拠点　法テラス札幌　札幌青年司法書士会 ○専門機関との連携セミナーを計3回開催し、特設展示を実施した。  【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○各専門機関とともに連携セミナーの開催のみならず、認知の拡大や利用の促進のため、広報活動のさらなる強化を図る。 ○課題解決のための専門機関の活用促進のため、相談窓口開設日でなくともレファレンス回答の1つの手段として専門機関を積極的に案内できるよう相互連携を深める。
		達成度	A	

No.	担当	具体的事業	具体的な取組内容	令和7年度（2025年度）の取組結果（成果） 令和8年度（2026年度）の取組目標
58	中央図書館・図書・情報館	■レファレンスサービスの充実と利用促進	商用データベースの利用促進、パスファインダー（調べもの案内）の新規作成と改訂など、レファレンスサービス充実に努めるほか、メールレファレンス、レファレンス関連のホームページの充実などの非来館型サービスを継続します。併せて、情報活用に関する個別のミニセミナー開催についても検討します。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 【中央図書館】 ○レファレンス事例を蓄積し、全館へ情報提供したほか、国立国会図書館が運営する「レファレンス協同データベース」へ事例公開を実施した。 ○SNSを活用し、レファレンスサービス、商用データベースのPRをそれぞれ行った。 ○2階図書室入口付近に設置している「レファレンスブックピックアップコーナー」の取組を継続し、テーマに沿った参考図書を展示するとともに、来館者がシールで投票できる質問を設置。定期的にテーマを変更し、参考図書に興味を持ってもらえるきっかけづくりとした。 ○パスファインダーを4種更新した。  【図書・情報館】 ○レファレンス事例を蓄積し、半年に一度全館へ情報提供したほか、国立国会図書館が運営する「レファレンス協同データベース」へ事例公開をした。 ○利用者自らが棚にスムーズにたどり着けるようテーマを工夫した棚作りをしている。またビジネス支援については所蔵資料の案内にとどまらず、定期的に開催している無料相談につなげている。 ○レファレンスサービスの認知度を高めるため、市民交流プラザ広報誌「WAVE TIMES+」やSNSを利用し情報発信している。 ○レファレンス館内演習を実施することでスキルの向上に努めた（年４回）。 ○情報活用に関するミニセミナー「マーケティングセミナー～データベース『MieNa』を使って商圏分析」（11回開催、参加者数合計37名）を開催。【再掲】  【令和8年度(2026年度)取組目標】 【中央図書館】 ○レファレンス事例の蓄積・共有のほか、研修、演習を通じて職員のレファレンス対応力の向上を図る。 ○レファレンスサービス、商用データベースについて、SNS等を活用したPRを行い利用促進を図る。 ○レファレンスブックピックアップコーナーの更新を継続し、参考図書の利用促進を図る。 【図書・情報館】 ○レファレンスの利用促進のため、認知率の向上などを目的とした取り組みを新たに策定する。 ○各種サービスの利用促進のため、ホームページの掲載情報の充実化とSNS等でPRをしていくことに合わせて、関係する団体等へ働きかけを行う。 ○専門機関との円滑な連携のため内部勉強会を行う。 ○レファレンス館内演習を通じてスキルの向上に努める（年4回）。
		達成度	A	

◆取組の方向性◆　⑵　身近な地域の学びの場としての機能を強化する

⑳市民の生涯にわたる学びの支援

No.	担当	具体的事業	具体的な取組内容	令和7年度（2025年度）の取組結果（成果） 令和8年度（2026年度）の取組目標
59	教）総務部	■さっぽろ市民カレッジの充実 【新規】	市民の多様な学習ニーズに対応するため、生涯学習センターを拠点に、体系的な学習機会提供事業「さっぽろ市民カレッジ」を、市内の図書施設で実施します。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○心理学や楽しく子育てする講座などの暮らしに役立つ講座、日本史やアートなど趣味の幅を広げる講座など、市内の図書施設において13講座を開講し、183名が受講した。 【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○市民に身近な場所で地域ニーズを踏まえた講座を展開するため、引き続き市内の図書施設で学習機会の提供を行う。また、多くの受講者を確保できるよう講座内容や広報を工夫するなど、地域における学習機会のより一層の充実を目指す。
		達成度	A	

さっぽろ読書・図書館プラン2022の取組項目の進捗状況（令和7年度（2025年度））

No.	担当	具体的事業	具体的な取組内容	令和7年度（2025年度）の取組結果（成果） 令和8年度（2026年度）の取組目標
60	中央図書館	■地域イベントへの参加検討【新規】	地域のイベント参加や連携などにより、読書支援に加えて、図書館の暮らしに役立つ「知の拠点」としての役割のＰＲを検討します。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○「カルチャーナイト2025」への参加を通じ、本のお楽しみ袋や夜のおはなし会など、館内を横断する４つのプログラムを実施し、図書館の魅力発信に努めた（273名参加）。 ○「交通資料館まつり2025」に出展し、クイズやテーマ別展示、利用案内・読書ノートの配布等を通じた周知活動を実施し、図書館の利活用促進を図った（来場者数：1,754名）。【再掲】 【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○引き続き、地域イベントへの参加を通じた読書支援活動を展開し、図書館の魅力を広く発信するとともに、利活用のさらなる促進に努める。
		達成度	A	
61	教）総務部	■開放図書館新規開設の推進	地域人材を活用した運営を行ない、地域住民も利用可能な時間を設定している学校図書館（呼称：開放図書館）を増やします。また、ボランティアに役立つよう、開放図書館司書向け情報誌の発行による情報共有やシステムの操作研修などを行うとともに、引き続き、学校開放図書館地域開放協議会とも連携を図ります。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○開放図書館新規開設を検討する学校を訪問して事業説明を行い、R８年度新規立ち上げに向けて取組支援を行った。 ○ボランティアのスキルアップを図るため、情報誌に各校の行事紹介や月報の提出方法等を掲載し、情報提供を行ったほか、基本的実務やボランティア間の情報交流、破損本修理や学校図書館利用ソフトウェアに関する集合研修を実施し、延べ163名が他校のノウハウ、操作方法や修理について学んだ。 ○令和７年度８回実施された、学校図書館地域開放協議会に参加し、情報共有等を行うことで連携を図った。 【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○これまで休館していた１館が、令和８年５月１日より運営再開することが決定しているため、円滑な開館に向けた支援を行う。 ○R８年度開設希望校に対して継続した開設支援を行うほか、Ｒ９年度開設相談があった学校に対して新規開設説明を行うなど、学校と地域が連携・協働した取組の拡大を図るため、引き続き個別説明等の働きかけを継続する。 ○集合研修の実施や、優良事例等を掲載した情報誌の発行を行うことで、ノウハウの共有や課題解決に努め、引き続きボランティアの活動を支えていく。 ○学校図書館地域開放協議会に参加して情報共有等を行い、協議会の役員や司書理事との連携を図る。
		達成度	A	

◆取組の方向性◆　⑶　地域の生涯学習と情報の拠点としての機能強化に向けた検討を進める

㉕地域の生涯学習拠点としての役割の検討　重点

No.	担当	具体的事業	具体的な取組内容	令和7年度（2025年度）の取組結果（成果） 令和8年度（2026年度）の取組目標
62	中央図書館	■地域の生涯学習の場としての地区図書館に関する調査・研究【新規】	図書館が地域の生涯学習の拠点とすることができるよう、講座や市民の交流・活動の場づくりに取り組んできた生涯学習センターと連携した事業を実施しながら、地域住民が学びを深め、自ら活動することができる環境づくりや施設の有効活用策について調査・研究します。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○平成30年4月に定めた「図書館との連携を核とした生涯学習推進体制の方針」に基づいた生涯学習センターとの連携事業で、「さっぽろ市民カレッジ」の「ご近所先生企画講座」を中央図書館及び地区図書館で実施した。 ・春期開講（5～6月）　：中央図書館・山の手図書館・元町図書館・澄川図書館・新琴似図書館・清田図書館 ・夏期開講（8～9月）　：中央図書館・東札幌図書館・厚別図書館 ・秋期開講（11～12月）：清田図書館・新琴似図書館 ・冬期開講（2～3月）　：厚別図書館・東札幌図書館・澄川図書館 ○各地区図書館において、①子どもが読書に関心を持てる働きかけ、又は②地域の生涯学習拠点としての役割の検討、のいずれかをテーマにして、企画提案型事業を実施した。 ※生涯学習の場としての図書館に関する調査研究については、令和4～5年度に図書館の将来の在り方についての調査研究の中で実施済。 ○令和11年度の移転を予定している清田図書館に関して、地域の生涯学習の場として機能向上できるようなフロア構成や諸室の配置を検討した。 【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○引き続き、中央図書館及び地区図書館で「ご近所先生企画講座」を実施する。 ○引き続き、各地区図書館において、さっぽろ読書・図書館プラン2022の重点施策に資する事業を企画し、実施する。 ○引き続き、令和11年度の移転を予定している清田図書館に関して、地域の生涯学習の場として機能向上できるようなフロア構成や諸室の配置を検討する。
		達成度	A	
63	中央図書館・図書・情報館	■図書館データベースのＰＲ【新規】	便利な使い方のコツなどをデータベース別にセミナー、イベントを実施するとともに、展示、ＳＮＳなどを活用し、ビジネスパーソン等に向けにデータベースの周知強化を図ります。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 【中央図書館】 ○レファレンス対応の際に役立つデータベースを積極的に案内し、利用につなげた。 ○SNSを活用した商用データベースのPRを行った。 【図書・情報館】 ○新聞・雑誌の記事や論文、法令、企業・業界情報など、様々なデータベース（23種）を提供した（1種減）。 ○商用データベースの講座（6回）、DBを活用したマーケティングセミナー（11回）【再掲】を実施した。 ○データベースの利用件数は、5,117件。（前年比94.5%） ○WORK関連セミナーにおいて、図書・情報館の活用方法の一環で、データベースの活用を紹介した。 ○相談窓口関係機関のコーディネーターと連携し、相談窓口利用者等への利用促進を図った。 【令和8年度(2026年度)取組目標】 【中央図書館】 ○レファレンス対応を通じた対面での案内のほか、SNSなどを活用したPRを継続し引き続きデータベースの周知強化と利用促進を図る。 【図書・情報館】 ○データベースの利用を促進するため、セミナーでの紹介やSNSなどを活用した情報提供を行う。 ○単発のセミナー形式ではなく、各種施策と連携させることで多面的、かつ継続的な広報活動を行うことで、さらなる利用促進を図ることとする。
		【中央図書館】達成度	B	
		【図書・情報館】達成度	A	
64	中央図書館	■行政情報の活用等に関する検討	市政情報や他の行政情報等の活用・発信方法を検討し、市民に正確な情報を届ける場としての機能強化に努めます。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○「暮らし応援棚」の行政PR展示2件（「さっぽろウェルネスプロジェクト」「犯罪被害者等への支援について」）【再掲】、1階展示室のパネル展（「札幌市誰もがつながり合う共生のまちづくり条例（つながるさっぽろ条例）に関するパネル展」）を実施した。 ○3階講堂で市民向け講座「犯罪被害を防ぐ～特殊詐欺の被害に遭わないために～」を開催した。 【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○「暮らし応援棚」を充実させ市政情報や行政情報等のさらなる発信を行うとともに、庁内の他部局と連携した展示を積極的に実施し、札幌市の取組をPRする場としての機能強化に努める。
		達成度	A	

さっぽろ読書・図書館プラン2022の取組項目の進捗状況（令和7年度（2025年度））

No.	担当	具体的事業	具体的な取組内容	令和7年度（2025年度）の取組結果（成果） 令和8年度（2026年度）の取組目標
基本方針４　持続可能な図書館サービスを見据えた図書館運営				
◆取組の方向性◆　(1)　将来にわたって持続可能な図書館とするための取組を進める				
㉖計画的な施設・設備の改修				
65	中央図書館	**■図書館施設・設備の計画的な維持管理・改修**	利用者の安全・安心を確保するため、引き続き、施設のユニバーサルデザイン化を進めるとともに、老朽化した施設・設備の維持管理及び改修を計画的に進めていきます。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 中央図書館の地下１階多目的トイレへの取っ手の取付や防犯カメラの増設を行った。山の手図書館の大規模改修工事のほか、各地区図書館の修繕を随時行った。 【令和8年度(2026年度)取組目標】 中央図書館の冷温水機の整備や外構・階段・トイレのバリアフリー改修工事のほか、各図書館においても老朽化した施設・設備の維持や故障発生に伴う修繕を随時行う。
		達成度	A	
㉗図書館サービスに関する市民との協働の検討				
66	中央図書館	**■満足度や評価についての調査の継続**	日々利用者から寄せられる要望・苦情の分析、市民の満足度調査として利用者アンケートを実施します。これらについて、取りまとめた結果をホームページ等で公表します。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○ホームページ掲載により、図書館への寄附喚起を行った。 ○令和6年度の利用者アンケート結果をホームページに掲載するとともに、各図書館においてアンケート結果を掲示した。 ○各図書館及び各図書室において、令和7年度の利用者アンケート調査を実施した。 【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○引き続きホームページ掲載により、図書館への寄附喚起を行う。 ○引き続き、利用者から寄せられる要望等について分析し、業務改善に活かす。 ○引き続き、各図書館及び各図書室において利用者アンケート調査を実施する。
		達成度	A	
67	中央図書館	**■地域住民の施設活用に関するニーズの調査・研究** 【新規】	地域住民が学びを深め、自ら活動する場として図書館を利活用する際の基本的な考え方を整理するため、地域住民の意向や地域ニーズ、地域特性を踏まえた利活用について調査・研究をします。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ※図書館サービスに関するニーズ調査や市民アンケートについては、令和4年度に図書館の将来の在り方についての調査研究の中で実施済。 【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○「(仮称)さっぽろ読書・図書館プラン2027」策定にむけた市民アンケート調査をもとに、引き続き地域住民の意向や地域ニーズ、地域特性を踏まえた利活用について検討する。
		達成度	ー	
68	中央図書館	**■寄附・寄贈募集手法の検討**	図書館資料充実のため、本の寄贈にとどまらず、広く民間から寄附を募る手法について検討します。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○図書館ホームページ掲載により寄附喚起を行った。 ○中央図書館では約32,000冊の寄贈を受けた。 ○「こども本の森 札幌・北大」の開館（令和8年8月）及び将来にわたる持続的な運営に向けた寄付金を募集するため、クラウドファンディングを実施した。 ・実施期間 2025年12月1日～2026年2月28日 ・結果 目標金額5,000,000円に対し、7,660,000円を達成 【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○引き続き図書館ホームページ掲載により寄附喚起を行う。
		達成度	A	
㉘将来も継続できる図書館サービス　重点				
69	中央図書館	**■適切な資料取扱に関する啓発及び取組** 【新規】	本の返却期限が守られない、借りた本を汚す・破損する、紛失するなど、一部のマナー違反により図書の円滑な利用が出来ないことから、利用者のマナー向上に繋げるため、広く市民に知ってもらうための広報活動や、個々の利用者に対する効果的な返却期限順守の呼びかけ手法の検討などの取組を進めます。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○日限票（貸出票レシート）のレイアウト見直しを行い、返却期限が視覚的に伝わりやすい配置を検討した。 ○図書館ホームページにおいて、「図書館の利用について」を掲載しマナー向上に取り組んだ。 【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○引き続き、図書館ホームページ、SNS等でマナー啓発を行う。
		達成度	A	
70	中央図書館	**■広告導入についての検討** 【新規】	新たな収入源を確保し、持続可能な図書館運営に役立てることを目的として、図書館の資産を活用した広告導入について検討します。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○「こども本の森 札幌・北大」の開館（令和8年8月）及び将来にわたる持続的な運営に向けた寄付金を募集するため、クラウドファンディングを実施した。【再掲】 ・実施期間 2025年12月1日～2026年2月28日 ・結果 目標金額5,000,000円に対し、7,660,000円を達成 【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○引き続き、図書館が収入を得る手段について他都市事例の収集を継続する。
		達成度	A	
71	中央図書館	**■図書館の役割や在り方に関する調査・研究** 【新規】	「居場所としての図書館」、「利用者負担による郵送貸出」など社会の変化に応じた図書館のあり方について調査・研究を行います。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○令和4年1月から、ヨムヨム便（有料郵送サービス）を開始。 ○ヨムヨム便は、新型コロナウイルス感染症の影響で来館が困難であった時期に開始された経緯があり、通常通りの来館が可能となった現状においては、送料自己負担による利用のハードルの高さもあり、利用件数は大きく減少している。 令和7年度ヨムヨム便利用件数　8件（24冊）。 ○「（仮称）さっぽろ読書・図書館プラン2027」策定にむけ、読書活動に関するアンケート調査や情報収集を行った。 【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○引き続き、ヨムヨム便サービスを継続するとともに、コロナ禍以降の社会状況の変化や利用者ニーズを踏まえて、サービスの継続や見直しを含めた今後のあり方について検討を行う。 ○読書活動に関するアンケート調査の結果をもとに、「（仮称）さっぽろ読書・図書館プラン2027」策定にむけ整理する。
		達成度	B	

さっぽろ読書・図書館プラン2022の取組項目の進捗状況（令和7年度（2025年度））

No.	担当	具体的事業	具体的な取組内容	令和7年度（2025年度）の取組結果（成果） 令和8年度（2026年度）の取組目標
㉙図書館の意義の周知・浸透				
72	中央図書館	■図書館広報の充実	図書館の現状、方針、利用手続きなどを効果的に宣伝して利用促進を図るため、現状の広報方法にとどまらず、図書館全体としてSNS（ソーシャルネットワークサービス）、動画等の活用なども含め、広報活動を充実させます。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○SNSを活用した広報活動として、Instagram（中央図書館、図書・情報館）、X[旧Twitter]（えほん図書館）、Facebook（図書・情報館）及び地域SNS「ピアッザ」（各館）を活用した情報発信を行った。また、行事・展示等については、広報さっぽろ各区版及び広報さっぽろ別冊「イベント情報はこちらでチェック 札幌市からのお知らせ」への掲載、フリーペーパーへの掲載及び地上デジタルテレビのデータ放送を行った。 ○令和8年8月の「こども本の森 札幌・北大」開館に向け、図書寄贈の募集、クラウドファンディングの実施等について、広報さっぽろやSNS等を活用して広報を行った。ヤマザキマリ氏の名誉館長就任についてはプレスリリースを行い、新聞・TV等で報道された。 【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○図書館の利用促進を図るため、引き続きSNS等を活用した広報活動の充実に努める。
		達成度	A	
◆取組の方向性◆　(2)　社会経済情勢や市民ニーズの変化に応じた図書館サービスの検討を進める				
㉚新たな時代の図書館サービスの検討				
73	中央図書館	■図書館における感染症対策の徹底 【新規】	図書館利用者に安心してご利用いただけるよう新型コロナウイルスなどの感染症の対策を徹底する。また、感染予防に資する非接触サービスを検討します。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 感染症に対する対策や情勢を注視しつつ、手指消毒液の設置を行うことで館内の衛生環境維持に努めた。また、電子書籍サービスを充実させることで来館することなく、利用できる環境を整えた。 【令和8年度(2026年度)取組目標】 引き続き、感染症に対する対策等を実施しながら、利用者が安心して利用できる環境づくりを行う。
		達成度	A	
74	中央図書館	■図書館システムの更新	図書館システム（蔵書検索・予約システム、電子図書館、図書・情報館座席予約システムなど）の利便性を高めるための改修作業を継続します。また、次期大規模更新に向け、課題を整理していきます。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○図書館システム機器の大規模更新を令和8年(2026年)1月に行った。利用者向けシステム改善として、①貸出券バーコードをスマホ画面に表示、②インターネット利用パスワードを利用者自身で更新、を実現した。 【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○図書館システムの安定稼働に努めるとともに、増加傾向にある事業費抑制を検討する。
		達成度	A	
㉛図書館の運営を担う人材の育成				
75	中央図書館	■図書館職員研修の実施	市民対応等サービス向上のための基礎的研修を実施するとともに、派遣研修や外部講師による専門的な研修を行い職員の資質向上に努めます。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ○集合研修：対面だけでなく動画配信も併用し、多くの職員の参加を促した。 ・読み聞かせ研修（会場9人）・スキルアップ研修「行ってみたくなる図書館のつくり方～“つなげ方”と“まきこみ力”～」（会場80人）・スキルアップ研修「図書館職員のための接遇研修」（会場82人）・児童サービス研修「図書館における効果的な装飾・展示デザインの基礎知識の習得」（会場58人）等。 ○派遣・オンライン研修：北海道図書館大会（10名）・レファレンスサービス研修「科学技術情報の調べ方―基礎編―」（オンライン2名）・全国図書館大会愛媛大会（2名）・全道図書館専門研修「企画広報」（1名）、「地域資料」（オンライン1名）　等。 【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○専門的な図書館サービスのレベルアップを図り、今後の図書館活動の中核を担う人材を育成するため、引き続き派遣・オンライン研修や外部講師による専門的な研修を行う。
		達成度	A	
◆取組の方向性◆　(3)　民間活力の導入を含む図書館の効果的・効率的な管理運営手法や施設配置を検討する				
㉜図書館運営の在り方や施設配置の継続的検討				
76	中央図書館	■民間活力導入の検討	将来にわたって図書館に求められる役割や市民ニーズ等に柔軟に対応するため、図書館運営のあるべき姿について引き続き検討をして行きます。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ※民間活力導入の効果と課題についての研究は、令和5年度に図書館の将来の在り方についての調査研究の中で実施済。 【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○引き続き、他都市事例の情報収集を行うとともに、図書館運営のあるべき姿について検討を行う。
		達成度	－	
77	中央図書館	■図書館のあるべき施設配置についての調査・研究 【新規】	効果的で持続可能な施設配置のあり方について調査・研究を行います。	【令和7年度(2025年度)取組結果】 ※施設配置についての調査研究は、令和4～5年度に図書館の将来の在り方についての調査研究の中で実施済。 【令和8年度(2026年度)取組目標】 ○引き続き、持続可能な施設配置について他都市事例の情報収集を行う。 ○「札幌市市有建築物及びインフラ施設等の管理に関する基本的な方針」に沿った施設配置の検討を行う。
		達成度	－	

※【新規】は、前の計画（～令和3年度、「図書館ビジョン」・「子どもの読書活動推進計画」）になかった取組項目

※達成度について
- S　年度当初の目標を大きく上回る成果を得た。
- A　年度当初の目標どおりにできた。
- B　年度当初の目標と比較して概ね出来た。
- C　年度当初の目標と比較してあまり出来なかった。
- D　年度当初の目標と比較してまったく出来なかった。
- －　事業終了等